

GRS-7029-2403

# パイロノックCC

## 耐熱・耐水性ウレア系グリース

近年、各産業界では省エネルギー・省力化を図るためにグリースの検討が重要視されています。そして従来の汎用グリースとしてのリチウム系グリースを上回る性能を有するウレア系グリースの優位性が理解されつつあります。パイロノックCCは増ちょう剤としてウレア系有機化合物を、基油として高度精製鉱油を用い、厳選された添加剤などを配合したグリースです。パイロノックCCは、特に優れた耐熱性・耐水性を要求される製鉄・製紙他の産業機械に最適のグリースです。

### ●特長

#### 1. 潤滑寿命が長い

パイロノックCCは、ウレア系増ちょう剤を使用し、各種添加剤を配合することにより従来の汎用リチウム系グリースに比べてはるかに長時間の潤滑寿命を有します。省エネルギー・省力化に大きく貢献できます。

#### 2. 耐熱性が良い

パイロノックCCは、広範囲の温度（-20～200℃）に使用できます。とくに短時間では230℃（連続給脂の場合）の使用にも耐え、従来のリチウム系グリースよりはるかに高温特性が優れています。

#### 3. 灰分が少ない

無灰系のウレア系増ちょう剤を配合しているため、燃焼残さがほとんど生成しません。

#### 4. 耐水性に優れる

パイロノックCCが使われる生産機械には、大量の冷却水がつきものですが、耐水性に優れることから、水による軟化や流出の心配がありません。

#### 5. 耐プラッキング性が良い

パイロノックCCは、プラッキング現象を起しにくいので集中給脂に適しています。

### ●用途

パイロノックCCは次のような潤滑個所に最適です。高熱および冷却水にさらされる各種産業機械：連続鑄造設備、熱間圧延機など製鉄機械、製紙機械、板ガラス製造機、乾燥炉、加熱炉、焼却炉など

### ●荷姿

180kgドラム、16kgペール缶

### ●パイロノックCCの代表性状

種類		0	1
増ちょう剤		ウレア系化合物	ウレア系化合物
外観		淡黄色半固体	淡黄色半固体
基油	動粘度(100℃) mm <sup>2</sup> /s	鉱油, 31.8	鉱油, 31.3
増ちょう剤	(25℃, 60回混和)	365	326
混和安定度	(25℃, 10万回混和)	419	333
滴点	℃	270	260以上
離油度	(100℃, 24h) mass%	1.4	1.1
蒸発量	(99℃, 22h) mass%	0.10	0.14
酸化安定度	(99℃, 100h) kPa	25	5
銅板腐食	(100℃, 24h)	変化なし	変化なし
水洗耐水度	(79℃, 1h) mass%	8	0
ASTM軸受防錆性試験	(52℃, 48h)	評点1 (さび発生せず)	評点1 (さび発生せず)
使用可能温度範囲 (目安)		-20～200	
消防法危険物分類		非危険物	

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2024年3月)



## 取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、増ちょう剤、潤滑油添加剤
絵表示：	
注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 臓器(血液系)の障害のおそれ 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</li><li>・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</li><li>・眼に入れないこと。飲み込まないこと。</li><li>・環境への放出を避けること。</li><li>・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</li><li>・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。</li><li>・取り扱い後はよく手を洗うこと。</li><li>・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</li></ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"><li>・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。</li><li>・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</li><li>・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。</li><li>・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。</li><li>・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。</li><li>・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</li></ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"><li>・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。</li><li>・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。</li><li>・施錠して保管すること。</li></ul>
廃棄	<ul style="list-style-type: none"><li>・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。</li><li>・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。</li></ul>